

➤ 小児科

当院のカバーする北勢地域は三重県の小児人口の半数が在住しており、量的にも質的にも充実した医療の提供が求められています。

当科は小児科専門医、神経専門医、新生児専門医、アレルギー専門医らでチーム医療を行い、地域の医療機関の皆様と連携しながら、また、院内各科の先生方の援助もいただきながら診療を行なっております。以下に当科の各部門の概略を示します。

◆ 周産期母子センター（3階東病棟）

周産期母子センター・未熟児新生児集中治療室（NICU 6床、GCU12床）

県内で初めてNICUの認可を受けた歴史があり、平成27年には増改築による増床も行われ、周産期新生児専門医が診療にあたっております。また、NCPR（新生児蘇生法）インストラクターにより、NCPR-Aコース、Bコース、Sコースを開催し、院内の周産期スタッフのみならず、地域の周産期医療施設のスタッフ教育に取り組み、北勢地域の新生児予後の向上に尽力しております。

◆ 一般小児科病棟（21床）

感染症、神経・代謝性疾患、川崎病などの急性・炎症性疾患の治療に加え、内分泌・代謝疾患・神経疾患などの入院精査も行っています。また近年要望の増えている食物アレルギー負荷試験も行っています。集中治療を要する疾患についても当院の救命救急センターの協力のもと、治療にあたっております。

◆ 外来診療

小児科専門医により小児疾患全般の診療にあたっており、小児神経専門医、アレルギー専門医の専門外来、周産期新生児専門医による発達外来も行っております。また、月に1回、三重大学より小児心臓専門医による専門外来も行っております。

◆ 救急外来

小児救急の特殊性、地域からのニーズを考慮して対応しております。特に、紹介いただいた患児は原則24時間お断りすることなく対応させていただいております。

◆ 2023年診療実績

一般小児科病棟入院患者数：703人

うち、食物アレルギー負荷試験42人、内分泌負荷試験22人

一般小児科外来患者数：11,901人

救急外来小児科患者数：1,559人

NICU+GCU入院患者数：250人

うち超低出生体重児：4人

極低出生体重児：7人

